

経営比較分析表（令和5年度決算）

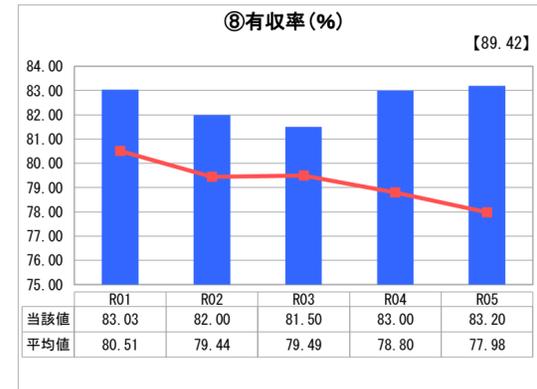
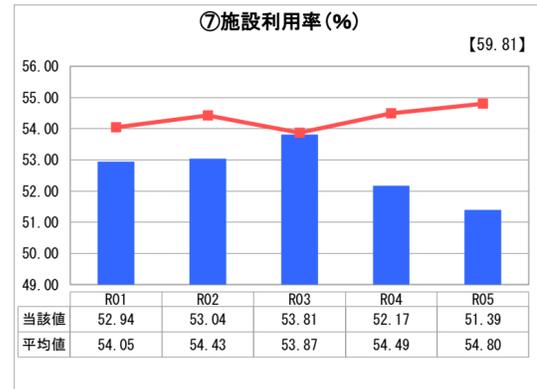
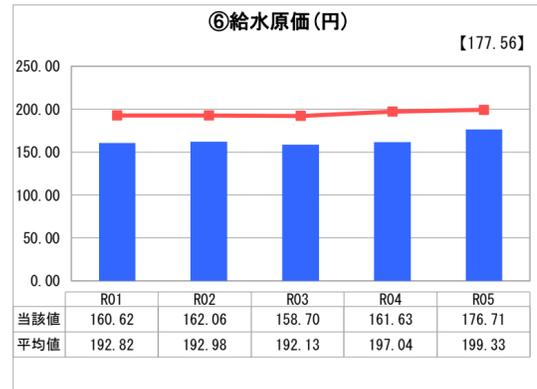
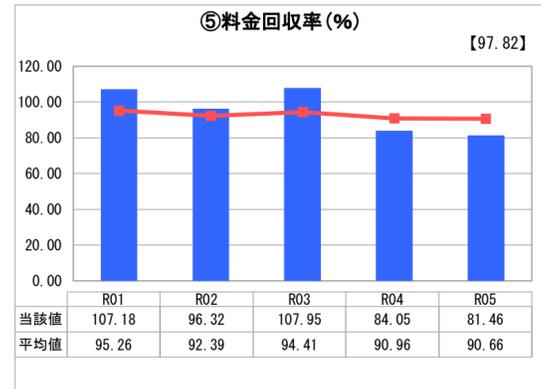
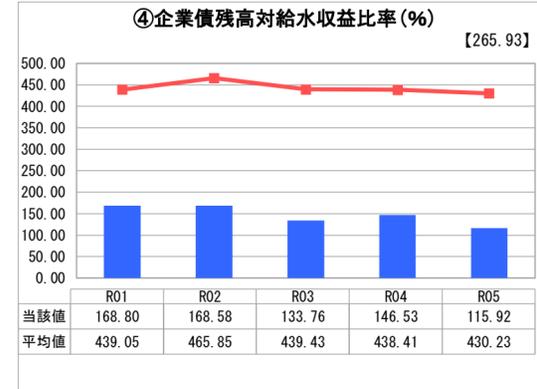
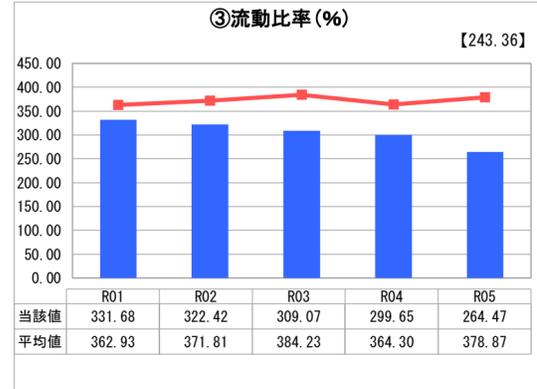
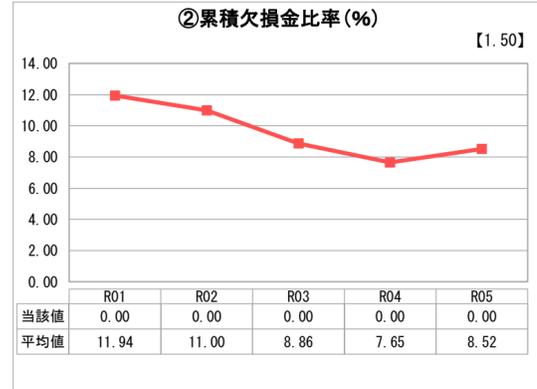
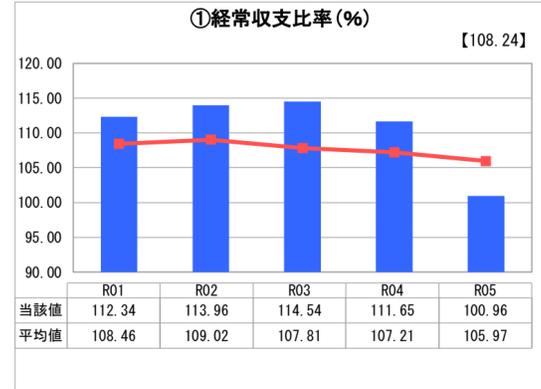
埼玉県 神川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	87.59	98.99	3,190	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
12,888	47.40	271.90
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
12,698	46.58	272.61

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

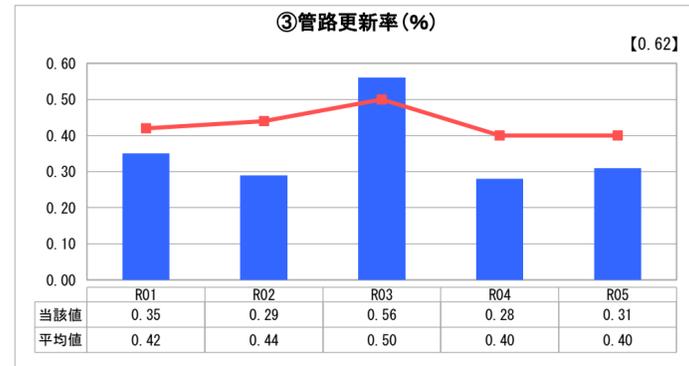
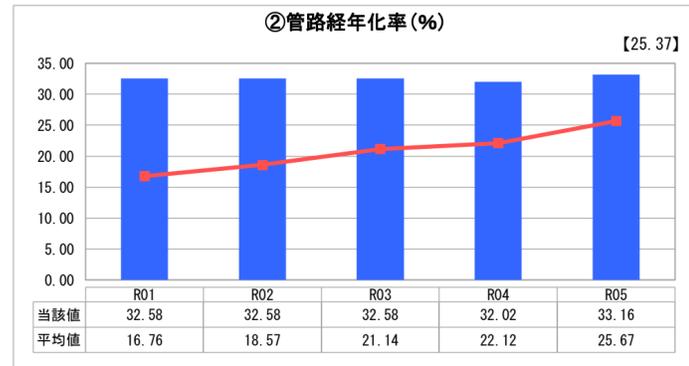
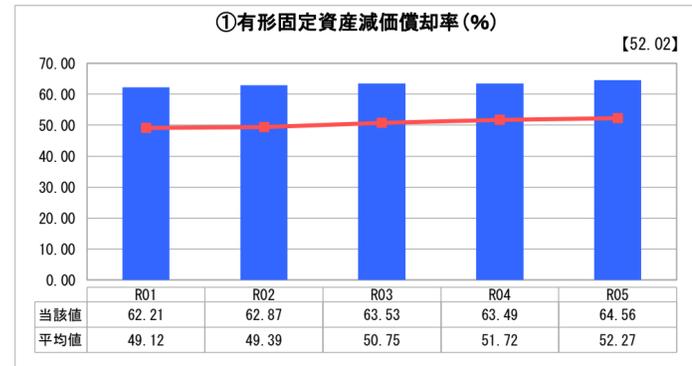
1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、物価高騰等支援対策による水道料金の基本料金の減免実施に伴い給水収益が伸びず修繕費及び減価償却費の増加により、前年度の数値から低下して類似団体平均値を下回った。
 ② 累積欠損金は生じていない。今後も欠損金が生じないように継続していく。
 ③ 流動比率は100%を超えているが、修繕費の増加等により現金預金残高が減少して前年度より数値は低下した。短期的な債務に対する支払能力は有しており、今後も健全経営を継続する。
 ④ 企業債残高対給水収益比率は、企業債現在残高が減少したため前年度から数値が低下し、類似団体平均値を下回っている。
 ⑤ 料金回収率は基本料金減免を実施したこともあり、前年度の数値から低下した。
 ⑥ 給水原価は類似団体平均値を下回っているが、費用の増加により前年度の数値より上昇した。今後、支出について更なる精査を行う必要がある。
 ⑦ 施設利用率は、給水人口の減少により配水量が減少したため、前年度の数値より低下した。今後も適切な規模確保を検討していく必要がある。
 ⑧ 有収率は類似団体平均値を上回り前年度の数値から上昇した。今後も引き続き老朽管の布設替えの推進や計画的な漏水調査を実施すること等により、有収率の更なる向上に努めていく。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率については、過去20年ほど大規模工事を行っていないため横ばいとなっている。今後の計画で来年度より予算を調整しながら計画的に更新工事を行っていく。
 ② 管路経年化率は、法定耐用年数が経過した老朽管を毎年度同数量にて順次、布設替工事を実施しているため、工事延長がほぼ一定となっている。類似団体平均値を大幅に上回っているため、計画的で積極的な施設管路の更新が必要である。
 ③ 前年度の数値より上昇したが、管路以外の施設の更新工事を優先したため、去年から微増となった。今後も計画的に更新を進めていく必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

経常収支比率は類似団体平均値と比較して、数値が下回る結果となった。給水人口の減少に伴う給水収益の減少と、工事費等の高騰で事業費の増大が続く中で安定的な財源を確保し、施設規模の見直しや老朽化した施設や管路の更新を実施していく必要がある。安定的かつ持続的可能な事業運営をおこなうため、今後は料金の見直しについて検討する必要がある。